



## 希 望 ヶ 丘



### ○ 今年の節分（2月2日）

2月に入りました。令和6年度も残すところ2か月となりました。まだ時間があるようにも感じますが、登校日は卒業式まで31日となりました。よりよい新年度をむかえることができるように、新年度の準備期となります。よく言われる「〇年生の0学期」。ご家庭でも新年度の目標について話をするなど、お声掛けをお願いします。

さて、今年の「節分」は2月2日になるそうです。国立天文台によると、「ことしは地球と太陽の位置関係などから「立春」が1日早まり、立春の前日とされる「節分」も例年より1日早い2月2日になります。1年は365日ですが、地球が太陽の周りを公転する周期は365日よりわずかに長いことなどから、立春と決められた位置に到達する時刻は毎年少しずつずれていきます。「うるう年」を設けて調整していますが、ずれは完全にはなくなることから、ことしは立春が1日早まるのに伴い節分も早まる」ということです。

### ○ 第2回 自分で作るお弁当の日（1月14日）

「第2回 自分で作るお弁当の日」を実施しました。

中には、「当日の朝は忙しいので前日に作っておいて、朝に弁当箱に詰めてきました。」と話してくれた生徒がいました。

前回までの経験値から、前日に仕込んでおいて火を通すだけ、詰めるだけといった工夫をする生徒が少しずつ増えているようです。

また、赤・青・黄色と茶色一色のお弁当にならないように意識しているお弁当も多く見られました。



### ○ 三校交流遠足 8組 三津シーパラダイス（1月17日）



今泉小学校と青葉台小学校の特別支援学級のみなさんと一緒に「合同遠足」を企画しました。合同遠足本番までに2回3校でリモートをつなぎ、小学生と一緒に「どんな動物を見たい」のか、意見を出し合いました。最終的にリーダーとして、みんなの意見をまとめ見学コースを考えました。

見学しての感想は、「とても楽しかったです。いろいろな生物がいて、その説明も詳しくしてくれました。そんな生物がいたのだと勉強になりました。小学生が協力して活動してくれて良かったです」と充実した様子が伝わってきました。



### ○ 3年面接練習（1月21日）

3年生の面接練習では、地域の元教員や市内の退職教員の皆様を講師として呼びし、熟練の先生方の的確な助言や指導をいただくことが出来ました。

個人面接の練習では、ひとりひとりの受験校の質問を中心に練習をしました。一般的な集団面接の練習でも、姿勢や視線、話し方などのアドバイスをうけ、本番に向けてとても良い経験ができました。

廊下で待っている3年生の様子を見ると、どの面接練習会場でも緊張した面持ちで、真剣に面接練習のノートを確認している姿が見られました。

2月4日・5日は私立入試です。面接練習で緊張した分、本番では少しでもリラックスをして受け答えができることを願っております。



### ○ 1年 SPAC 中高生舞台芸術鑑賞事業（1月23日）

【メナム河の日本人】17世紀初頭、己の才覚のみを頼りにアユタヤ王朝（タイ）にわたり、日本人傭兵部隊の隊長として重用されるまでに登り詰めた山田長政。作家・遠藤周作は、その波乱万丈の生涯を壮大な歴史活劇として鮮やかに描く一方、神父・ペトロ岐部との邂逅（めぐりあい）を創作し、自らの抱える「日本人」と「信仰」の問題を織り込んだ。  
〔SPACのHPより〕

生徒の感想を一部紹介します。

- ・ 歴史がとても苦手だったけど、演劇を見ただけで歴史の内容が分かったのでもよかったです。
- ・ 役者の演技力が、すごく迫力があつた。見ている時の自分が、その作品の中にいるような気持ちになった。
- ・ 俳優さんの演技も話もとてもおもしろく、ハラハラしながら物語に入った気分で見ることができた。
- ・ すべての人たちが劇について真剣に取り組んでいて、その迫力が伝わってきた。一人一人が違う演技で、特にクンサワットの演技に、とてもびっくりして面白かった。
- ・ マイクとかを使ってやっていると思っていたら、マイクなんか何もなくてすごいと思った。
- ・ 役者が本気で仕事をやっていて、一人一人が自分の役の人になりきっていた。
- ・ 思っていた以上に迫力があつて、言葉にしなくても表情とか動きで、どんな気持ちなのかが伝わってきてすごかった。

多くの生徒が役者の迫力ある演技力に感心していました。

文責 教頭 田村 聖一  
電話 51-1115